

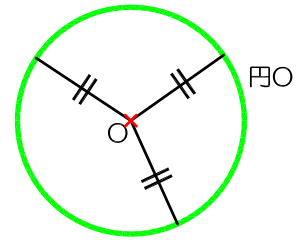
**基本事項**

**一言アドバイス**

AutoCAD、AutoCAD LTでは、反時計回りを「正」としています。

■円

平面上の1点から等しい距離にある  
点の集まりを「円」といいます。  
点「O」を「中心」といいます。  
表示： 「O」を中心と円を「円O」と表示します。



■弧

点ABを両端とする、円周の一部を「弧」といいます。

優弧…弧長が長い

劣弧…弧長が短い

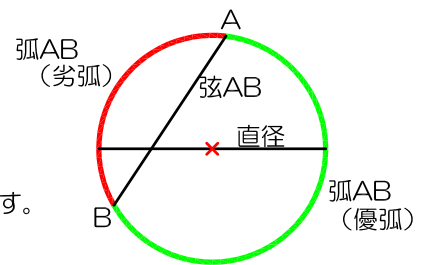
表示：  $\widehat{AB}$

$\frown AB$

■弦

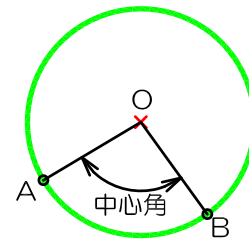
弧の両端を結んだ線分を「弦」といいます。

中心を通る弦は直径といいます。



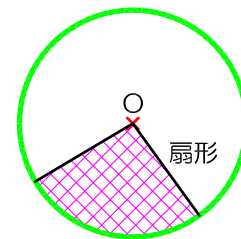
■中心角

円の中心を頂点とし、  
2辺が弧の両端を通る角を、その弧に対する「中心角」といいます。



■扇形

1つの弧とその中心角を与える2辺で囲まれた図形を「扇形」といいます。

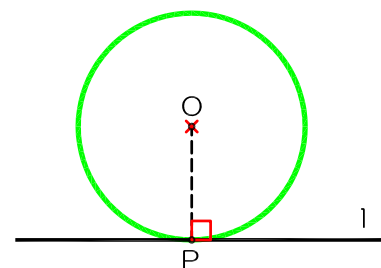


■円の接線

円Oと直線 l が1点Pだけを共有するとき、直線 l は、円Oに接するといえます。

この直線 l を円Oの「接線」といいます。

点Pを「接点」といいます。



接線の特徴

- 1) 円の接線は、接点を通る半径に垂直です。
- 2) 半径の中心を端点とし、異なる端点で、半径に垂直な直線は、この円の接線となります。